

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和元年10月10日

ラグビーと復興支援が繋ぐ、都市間の交流と絆

(南アフリカ×岩沼市×袋井市)



震災支援の南アを
宮城・岩沼市が応援
袋井の友好都市
ラグビーワールドカ
ップ(W杯)の南アフ
リカーイタリヤが開か
れた袋井市のエコパ
スタジアムを4日、同
市と友好都市の宮城
県岩沼市からの一団が



南アフリカ代表を応援する岩沼市民
＝4日午後、袋井市のエコパスタジアム

訪れた。岩沼市は東日
本大震災の際に支援
を受けた縁で、南アフ
リカ代表に声援を送っ
た。
岩沼市には震災直後
に南アフリカのレスキ
ュー隊が駆け付け、救
助活動を実施。同市は
国から南アフリカの
「復興ありがとうホス

トタウン」の認定を受
け、今後も同国と交流
を深める意向という。
菊地啓夫岩沼市長ら
市関係者と市民約30人
が観戦した。袋井市は、
日本大震災の被災地支
援で岩沼市を重点支援
した経緯があり、菊地
市長は「南アフリカが
袋井で試合をやるなん
て素晴らしい縁を感じ
る。防災中心に袋井市
と一層連携したい」と
強調した。



宮城県岩沼市 菊地市長

東日本大震災の際、復興
を支援してくれた南アフ
リカの試合が、同じく復
興支援をきっかけに交流
を深め友好都市となった
袋井で開催されることに
強い縁を感じる。今後も
相互理解を深め、交流や
連携を続けていきたい。